

第二回小美玉市総合計画審議会 協議録

開催日時	令和6年6月20日(木) 13:30~14:35
場 所	小美玉市役所2階 第2会議室
出席者	長島委員、鈴木委員、長津委員、石井委員、村田委員、馬渡会長、北村委員、保田委員、吉倉委員、前野委員、石川委員、山口和弘委員、大山委員、伏見委員、山口桂也委員、久保田委員、大曾根委員、大貫委員、伊藤委員
欠席者	小池委員
事務局職員	滑川市長公室長、植田政策企画課長、海保政策企画課長補佐、皆藤主事
内 容	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議 (1)施策の外部評価について ・ 専門委員会による評価結果 (2)次年度以降の外部評価について 4 その他 5 閉会

委員	<施策評価調書(資料1-1①) 活気あるまちプロジェクト> 国内のみではなく、海外の企業誘致についても考えるべきでないか。
会長	今の企業はテレワークが当たり前の会社が多い。また、サテライトオフィスで働くということもある。また、日本に居ながら国外企業に勤めることもある。国内企業に限らず、海外の企業についても留意すべきである。
委員	引き合い数や誘致数など、もっとPRしていけたらいいと思う。 1件ではさすがに足りないだろうということで、他の手段も含めて検討して欲しい。
委員	テレワークやAIを積極的に導入する企業を誘致することが大切という意見が専門委員会であったが、テクノパーク周辺は騒音の問題で工場系を前提とした誘致かと思う。テレワークは雑音が多く難しいと感じる。サテライトオフィスを作り、「小美玉市でどのような働き方ができるか」を見える化・体験すると、企業を誘致しやすいと思う。小美玉市にはサテライトオフィスがない。
会長	各委員のご意見を踏まえると、まだまだできることがあるということで、取り組みを強化し、成果を向上させることで、総合計画審議会の評価を「B」にする。

委員	<p><施策評価調書（資料1-1②） 活気あるまちプロジェクト></p> <p>専門委員会で教育から就労に繋がる出口戦略が重要という意見があったと記載があるが、小中学生は知識の詰め込み型の学習をしていて、探求的な学習をしていないため、繋がりにくいのではないかと感じる。教育的なところからアプローチしていくのも一案かと思う。また、施策の補足で記載の縦割りでなく、横串でという意見について、市としてどういう取り組みが必要か示すべきだと思う。</p>
委員	<p>高校では、総合学習に代わって探究という授業が必修化された。これは各自治体や地域に応じた形で子供たちがテーマを決めて調べるもの。テーマは企業活動に限らないが、この授業と連動させることは出来るのでは。</p>
委員	<p>以前、玉里学園で企業説明会に出向いたことがある。クレラップの商品は知名度が高いが、地元で作られていることについて、知っている児童は40人中5名であった。やはり地元企業が子どもに認知されてないと感じた。企業誘致を見ても、地元で働きたい意欲を子どもから意識づけることは大事だと感じている。企業としてもアピールをしているが、市の協力を得て、市が主導し、そこに企業が賛同する形がよいと思われる。会社の大小に限らず、子どもの頃から地元の入りたい会社、働いてみたい会社を知ってもらうことは大事である。誘致の取り組みの母数を増やさないと、結果も増えない。高い目標を持って進めてもらいたい。</p>
会長	<p>以上のことから、総合計画審議会の評価を「B」する。</p>

委員	<p><施策評価調書（資料1-2①）市民協働のまちプロジェクト></p> <p>主な成果指標では、まちづくり組織認定団体数の計画値として、毎年3～4団体増加と示されている。しかし、実情として高齢化により成り立たない団体もある。安易に団体数を増加することに意味があるのか。まず、現状の団体運営をやっていくことが必要であるため、その点について協議したほうがいい。</p>
会長	<p>専門委員会での意見も踏まえ、総合計画審議会の評価を「B」する。</p>

会長	<p><施策評価調書（資料1-2②）市民協働のまちプロジェクト></p> <p>特に注目すべき点として、ふるさと納税が前年度から増額している。数年で品目も増え、大幅に変わったことが印象づけられている。</p>
会長	<p>専門委員会での意見を踏まえ、総合計画審議会の評価を「B」する。</p>

委員	<p><施策評価調書（資料1-3）DX推進プロジェクト></p> <p>小美玉市ホームページのAIチャットボットについて、何度か利用したが全然ヒットしない。他AIの方がアクセスも容易で回答がもらえる。AIチャットボットが本当に学習しているのか疑問。それとも、利用者が少ないから学習が出来ていないのか。</p>
委員	<p>小美玉市から送付される資料について、ペーパーレス化しないのか。今年10月から郵便料金の値上がりがあり、ペーパーレス化するとコストカットが図れる。ただ、高齢者の方は紙の需要が高い。このペーパーレス化についてどのように考えているのか。市民優先で対応すると、データと紙の両方を使用することとなり、逆に負担になるため、意見を市民から聞いた上で、ペーパーレス化をしても良いと思う。</p>
委員	<p>区長の活動で、一昨年頃から市とメールのやりとりを始めた。その中で、心配なのは情報漏洩。ハッキング等のリスクヘッジにどのくらい対応しているのか。ホームページでどのように対応しているか示されていない。一方で、感心したこともあり、こちらがメールで添付資料を送付したことに対し、受信確認の返事が来る。その確認メールには添付した資料がシステムにより消去されていて、ここはしっかりしていると思った。</p>
事務局	<p>現在、市では、例えば農業委員会とか介護認定審査会でペーパーレス化を進め、すでにタブレットで会議を運営している。他の会議でも、会議の資料を事前にメールで送付し、それから、タブレットを使用してダウンロードし、会議資料を取得する。それから会議当日はタブレットで運営している。DXの推進計画に位置付けられていることから、各会議ではタブレットを活用していきたいと考えている。</p>
会長	<p>デジタル田園都市構想により、DXやAIを活用して進めていくことは、国でも推進している。コストカットと国の補助金を活用することもあわせて意見とする。</p>
委員	<p>デジタルに詳しくない高齢者は、自宅に手紙で郵送されて来るとほっとする。紙を無くさないでほしい。大切なことや絶対忘れないでほしい事、間違えないでほしい事については、手紙で来るとありがたい。</p>
会長	<p>専門委員会での意見も踏まえ、総合計画審議会の評価を「B」する。</p>

委員	<p><次年度の外部評価について></p> <p>この3つに振り分ける際に、苦手な分野もあるため、どの分野の委員会に参加したいか委員の意見も取り入れて欲しい。</p>
会長	<p>来年度の専門委員会は、委員の皆さんの意向も踏まえた上で、委員の振り分けを行う。</p>